

## 調査レポート

# アジア経済概況(2012年9・10月)

### 【目次】

#### . 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況・・・景気テコ入れ策の効果もあり景気は底打ち ..... p.1
2. 中国の主要指標解説:賃金上昇と輸出競争力 ..... p.3
3. 台湾経済の概況・・・7-9月期の成長率は前年比1.0%、景気は底打ち ..... p.4
4. 韓国経済の概況・・・輸出の持ち直しで景気底入れの兆し ..... p.5

#### . ASEAN・インド

1. タイ経済の概況・・・7-9月期のGDPは前年比3.0%増に伸びが鈍化 ..... p.6
2. インドネシア経済の概況・・・わずかながら伸びが鈍化した7-9月期GDP .. p.7
3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 ..... p.8
4. ベトナム経済の概況・・・緩やかな成長が続くベトナム経済 ..... p.9
5. インド経済の概況・・・低い水準で推移する経済成長率 ..... p.10

- . アジア通貨・株価動向 ..... p.11

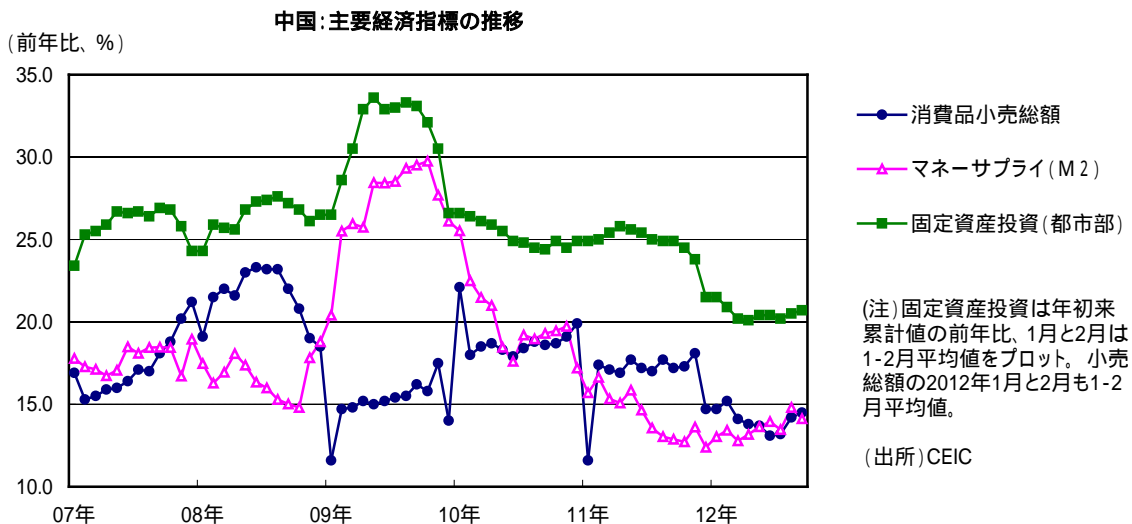
### 三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

調査部 野田 麻里子( 担当)、土田 陽介( ・ 担当) ( chosa-report@murc.jp )  
〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2  
TEL: 03-6733-1070

・ 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・ 景気テコ入れ策の効果から、主要指標は総じて持ち直しており、景気は底打ちしたとみられる。
- ・ 2012年11月の製造業PMI（購買担当者指数）は50.6と10月（50.2）から2ヶ月続けて景気の拡大と縮小の分岐点となる50を上回った。ただし、上昇幅は小幅であり、景気の持ち直しテンポも緩やかなものにとどまるとみられる。
- ・ 小売総額（9月前年比14.2%増 10月同14.5%増）、固定資産投資（1-9月累計前年比20.5%増 1-10月累計同20.7%増）、輸出（9月前年比9.9%増 10月同11.6%増）など主要指標は総じて持ち直しの動きが続いている。鉱工業生産も年初来累計ベースでは1-9月期、1-10月期とも前年比10.0%増で横ばいとなっているが、単月ベースでは9月前年比9.2%増 10月同9.6%増と同じく持ち直しが続いている。また、発電量も9月前年比1.2%増 10月同7.1%増と増加している。
- ・ また、10月のマネーサプライ（M2）は前年比14.1%増と9月（同14.8%増）を下回ったものの、依然として年間目標（同14%増）を上回る増加が続いている。こうした金融緩和の浸透が足元の持ち直し傾向を支えているとみられる。
- ・ 10月の消費者物価上昇率は食品価格の上昇幅縮小から前年比1.7%と安定水準で推移している。また、生産者物価上昇率は9月前年比3.6% 10月同2.8%と依然として前年比マイナスながらもマイナス幅が縮小していることから、在庫調整が進み、国内の需給バランスが徐々に引き締まってきたことがうかがわれる。
- ・ 11月中旬に開催された中国共産党大会を経て習近平氏が総書記に就任した。国民の生活の改善を政策目標に掲げる新指導部の舵取りが注目されている。



【中国・香港の主要経済指標】

			2009年	2010年	2011年	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/9月	12/10月	12/11月
中国	GDP	実質GDP成長率	前期比%				2.4	1.7	1.5	2.0	2.2		
		(累計ベース)	前年比%				9.2	8.9	8.1	7.6	7.4		
			前年比%	9.2	10.4	9.3	9.5	9.3	8.1	7.8	7.7		
		名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	8.6	17.8	17.8	18.2	17.8	11.3	10.4	9.7		
	消費	社会消費品小売総額	前年比%	15.5	18.4	17.1	17.3	17.5	15.2	13.9	13.5	14.2	14.5
		うち市(都市部)	前年比%	15.5	18.8	17.2	17.4	17.6	15.2	13.8	13.5	14.2	14.5
		うち県(農村部)	前年比%	16.4	16.2	16.6	16.7	17.5	14.6	14.3	14.2	14.7	14.8
		自動車販売台数	前年比%	45.4	32.4	2.5	4.4	0.7	3.9	10.0	4.4	1.7	5.3
		うち乗用車(セグ、SUV他)	前年比%	52.9	33.2	5.2	7.9	2.1	1.8	16.6	6.7	0.3	6.4
		消費者自信指数	期中平均	101.9	105.5	103.3	104.7	99.3	103.0	102.1	99.5	100.8	106.1
消費者期待指数		期中平均	101.2	105.8	106.6	110.4	104.4	108.9	106.9	103.1	104.0	109.3	
投資	固定資産投資(都市部・500万円以上;年初来累計)	前年比%	30.5	24.5	23.8	24.9	23.8	20.9	20.4	20.5	20.5	20.7	
	うち不動産・居住用建物	前年比%	19.9	33.5	29.7	32.6	29.7	27.0	22.1	21.1	21.1	21.1	
	うち国内企業	前年比%	33.8	25.6	24.7	25.7	24.7	21.4	21.0	21.2	21.2	21.4	
	うち製造業	前年比%	26.8	27.0	31.8	31.5	31.8	24.8	24.5	23.5	23.5	23.1	
	うち鉄鋼	前年比%	1.3	6.1	14.6	20.0	14.6	8.0	9.4	3.9	3.9	3.9	
	うち輸送機械(自動車)	前年比%	31.3	31.7	27.2	32.1	27.2	38.6	36.0	34.5	34.5	33.7	
	うち電気機械	前年比%	51.2	40.4	44.6	50.0	44.6	11.2	8.3	7.0	7.0	6.9	
	うち情報通信機器	前年比%	6.7	48.2	34.2	39.4	34.2	12.4	12.6	14.8	14.8	13.3	
	直接投資契約件数(累計ベース)	前年比%	14.9	16.9	1.1	6.2	1.1	9.4	13.1	11.7	11.7	10.5	
	直接投資実行額(累計ベース)	前年比%	13.2	12.4	9.7	16.6	9.7	2.8	3.0	3.8	3.8	3.4	
貿易及び外貨準備	不動産景気指数	期中平均	98.4	104.3	101.6	101.0	99.7	97.4	95.1	94.5	94.4	94.6	
	貿易収支	10億ドル	195.7	181.5	154.9	62.6	48.3	0.3	68.6	79.4	27.6	32.0	
	輸出(ドルベース)	前年比%	16.0	31.3	20.3	20.6	14.2	7.6	10.5	4.5	9.9	11.6	
	輸入(ドルベース)	前年比%	11.2	38.8	24.9	24.9	20.1	6.9	6.4	1.4	2.4	2.4	
	対米貿易収支	10億ドル	143.3	181.2	202.3	60.9	57.0	42.4	57.2	61.4	21.1	21.7	
	対日貿易収支	10億ドル	33.0	55.7	46.3	12.0	8.3	6.9	7.8	9.0	2.3	1.2	
	外貨準備	期末10億ドル	2399.2	2847.3	3181.1	3201.7	3181.1	3305.0	3240.0	3285.1	3285.1		
生産	鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	11.0	15.7	13.9	14.2	13.9	11.6	10.5	10.0	10.0	10.0	
	うち国有企業	前年比%	6.9	13.7	9.9	10.4	9.9	7.2	7.0	6.3	6.3	6.4	
	うち株式会社企業	前年比%	13.3	16.8	15.8	16.1	15.8	13.8	12.4	11.8	11.8	11.8	
	うち外商・港台企業	前年比%	6.2	14.5	10.4	10.9	10.4	6.4	6.3	6.0	6.0	6.0	
	発電量	前年比%	6.8	14.0	10.9	10.8	8.9	6.5	1.2	2.1	1.2	7.1	
	製造業購買担当者指数(PMI)	%	52.9	53.8	51.4	50.9	49.9	51.5	51.3	49.7	49.8	50.2	50.6
	うち新規受注	%	55.4	55.8	51.9	51.2	49.4	52.2	51.2	49.2	49.8	50.4	51.2
	うち雇用	%	49.9	51.8	50.2	50.6	49.1	49.2	50.4	49.2	48.9	49.2	48.7
所得雇用	新規輸出受注	%	49.5	52.8	50.0	49.9	47.6	50.0	47.3	48.8	49.3	50.2	
	都市一人当たり所得(累計ベース)	前年比%	10.5	11.5	14.0	13.5	14.0	14.1	13.3	12.9			
	労働力市場求人倍率	期末	0.97	1.01	1.04	1.04	1.04	1.08	1.05	1.05			
	第二次産業/全産業求人比率	期末%	39.7	34.5	40.4	41.1	40.4	43.5	41.7	38.9			
物価	消費者物価指数	前年比%	0.7	3.3	5.4	6.3	4.6	3.8	2.9	1.9	1.9	1.7	
	うち食品	前年比%	0.8	7.2	11.8	13.9	9.9	8.1	5.7	2.8	2.5	1.8	
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	0.2	0.0	2.4	2.8	2.8	2.4	2.0	1.8	1.6	1.5	
	生産者物価指数	前年比%	5.4	5.5	6.1	7.1	3.1	0.1	1.4	3.3	3.6	2.8	
金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	27.7	19.7	13.6	13.0	13.6	13.4	13.6	14.8	14.8	14.1	
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	1.03	1.67	3.14	3.63	3.33	3.30	2.65	2.73	2.79	2.73	2.41
	株価指数(上海総合)	期末	3,277	2,808	2,199	2,359	2,199	2,263	2,225	2,086	2,086	2,069	1,980
	為替レート(元/ドル)	期中平均	6.83	6.77	6.46	6.42	6.34	6.31	6.31	6.33	6.34	6.31	6.30
	為替レート(円/元)	期中平均	13.7	12.9	12.3	12.1	12.2	12.5	12.7	12.4	12.3	12.6	12.9
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	2.5	6.8	4.9	4.3	2.8	0.7	1.2	1.3		
		うち民間消費	前年比%	0.8	6.3	8.2	9.5	5.9	6.4	3.1	2.8		
		うち固定資本形成	前年比%	3.5	7.4	7.5	11.6	9.3	12.6	5.7	8.7		
		名目GDP成長率	前年比%	2.8	7.1	8.9	8.8	6.9	4.2	3.6	5.2		
	消費	小売販売数量指数	前年比%	0.8	15.6	18.5	19.6	16.2	11.0	7.1	4.2	9.5	3.6
	貿易	貿易収支	10億HKドル	224	335	426	111	116	99	123	121	45	43
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	12.6	22.7	10.2	4.3	7.0	1.5	1.8	3.8	15.2	2.8
		輸入(香港ドルベース)	前年比%	11.0	25.0	11.9	8.8	9.3	0.7	2.1	4.5	14.9	3.3
	物価	消費者物価指数	前年比%	0.6	2.3	5.3	6.4	5.7	5.2	4.2	3.1	3.8	3.8
	金融	マネーサプライ(M3)	期末%	7.1	5.3	12.8	14.2	11.2	13.2	8.7	9.0	10.4	10.4
ハンセン指数		期末ポイント	21,873	23,035	18,434	17,592	18,434	20,556	19,441	20,840	20,840	21,642	22,030

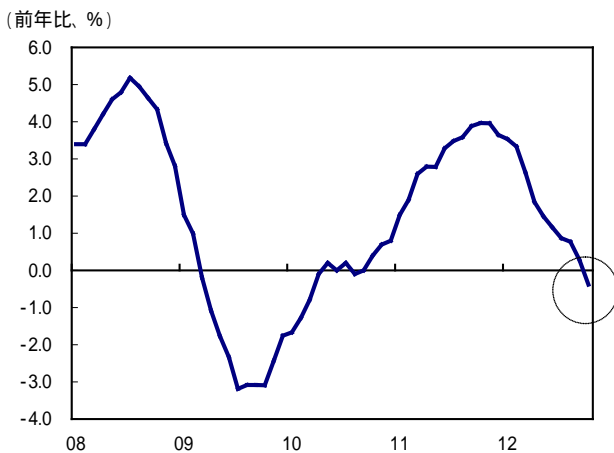
(出所) CEIC (注) 小売総額の内訳は2010年以降、上段(都市部)、下段(農村部)。固定資産投資統計の基準は2011年以降500万円から500万円に変更。

## 2. 中国の主要指標解説：賃金上昇と輸出競争力

大幅な賃金上昇を背景に中国製品の輸出競争力が低下しているといわれている。しかし、今やEUに代わり中国にとって最大の輸出相手国となった米国の対中国輸入物価は低下傾向が続いており、10月には前年比 0.4%と前年水準を下回った(図表1)。実際、中国の貿易指数でみても今年に入って輸出単価の上昇は小幅にとどまっており(9月、10月は前年比マイナス)、賃金上昇の輸出価格への転嫁はあまり進んでいないように見える(図表2)。

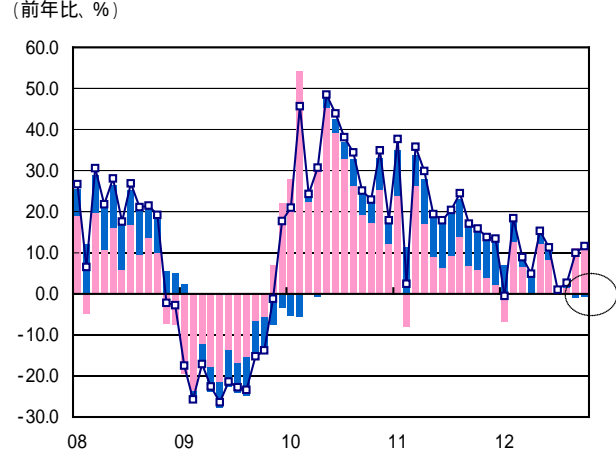
ただし、品目別にみると、一般・電気機械では輸出単価の下落傾向がみられるものの、繊維・繊維製品や玩具などの雑製品では輸出単価の上昇が続いており、これらの製品については生産コスト上昇の価格転嫁は着実に進んでいるとみられる(図表3)。これが全体の傾向に反映されないのは一般・電気機械のシェアが圧倒的に大きい(中国の輸出の42%、米国の対中輸入の46%)ためと考えられる。その一方で、価格転嫁を進めてもなお、輸出が増加基調にある雑製品(足元は繊維・繊維製品も)については価格以外に高い競争力があることが示唆されているといえよう。

図表1. 米国の対中国輸入物価の推移



(出所)CEIC

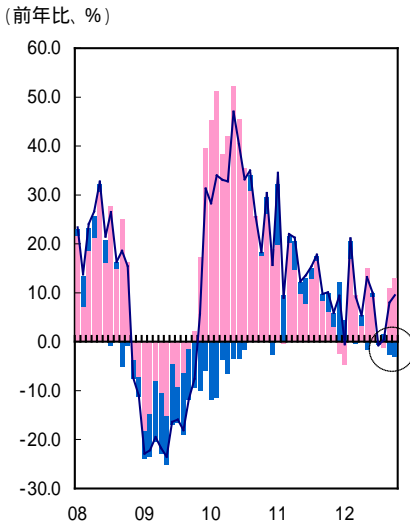
図表2. 中国の貿易指数(輸出)の推移



(出所)CEIC 輸出数量 輸出単価 輸出金額

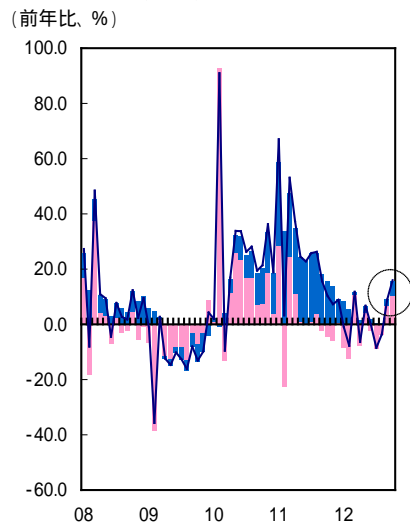
図表3. 中国の主要輸出品目別貿易指数の推移

<一般・電気機械>



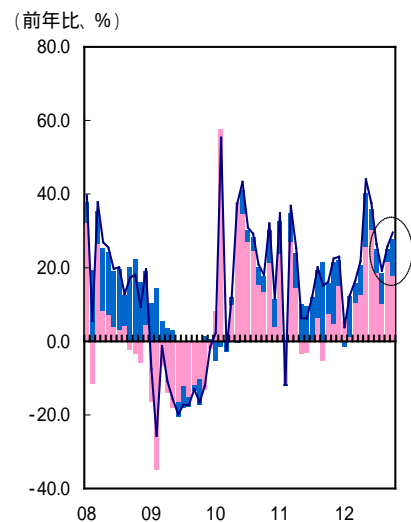
輸出数量 輸出単価 輸出金額

<繊維・繊維製品>



輸出数量 輸出単価 輸出金額

<雑製品>

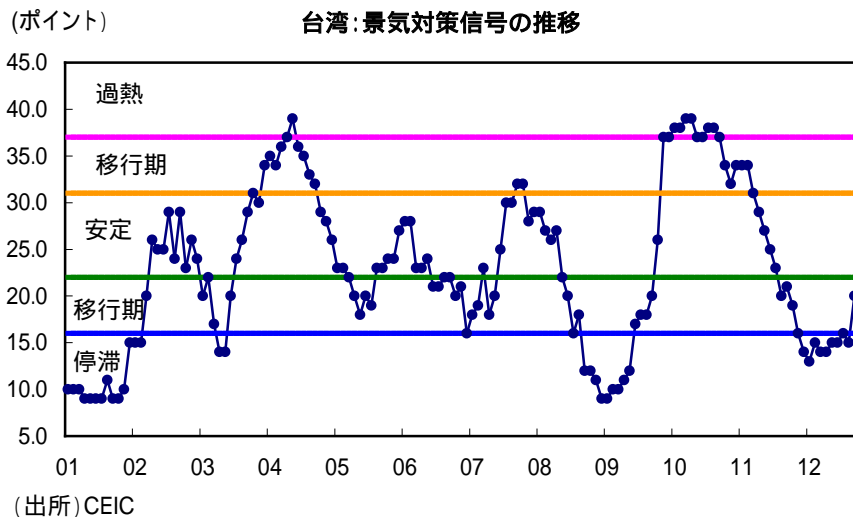


輸出数量 輸出単価 輸出金額

(出所)CEIC

3. 台湾経済の概況

- ・ 景気は底打ちしたとみられる。7 - 9月期の実質GDP成長率は輸出が前年比1.8%増とプラスに回復したことから同1.0%に持ち直した。これを受け政府はこれまで9回連続して下方修正してきた2012年の成長率見通しを10月の1.05%から1.13%に上方改定した。10月の景気対策信号も9月より2ポイント低下したものの18ポイントと引き続き、停滞圏と安定圏の間の移行期レンジにとどまっている。
- ・ また輸出の先行指標である輸出受注も米国向け輸出受注の増加から10月は前年比3.2%増とプラス幅が拡大しており、スマートフォン、タブレット端末などの海外需要の好調に支えられ、当面、輸出は持ち直し基調で推移するとみられる。
- ・ 一方、消費は厳しい雇用環境に加え、来年からの株式キャピタル課税の導入、健康保険料の値上げなどが消費者マインドの下押し要因となり、低迷が続いている。



【台湾の主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/30	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/9月	12/10月	12/11月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.1	1.2	1.4	0.1	1.0			
	(前年比)	1.8	10.8	4.1	3.5	1.2	0.6	0.1	1.0			
	うち民間消費	0.8	4.0	3.1	3.4	1.4	1.9	1.6	0.9			
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	11.2	21.1	3.1	8.3	12.4	10.2	7.7	0.5			
生産	鉱工業生産(yoy)	8.1	26.9	5.0	3.4	4.0	4.7	1.4	1.4	2.9	4.6	
消費	卸小売販売指数(yoy)	3.5	5.3	0.9	0.9	3.6	2.8	0.1	0.9	0.6	1.3	
貿易及び対外関連	貿易収支(10億ドル)	29.3	23.4	26.8	7.8	8.9	5.7	5.6	8.4	4.1	3.3	
	輸出(yoy)	20.3	34.8	12.3	11.6	4.5	4.0	5.4	2.2	10.4	1.9	
	輸出受注(yoy)	8.3	26.1	7.2	6.3	2.0	1.5	3.1	1.4	1.9	3.2	
	輸入(yoy)	27.5	44.1	12.0	10.2	0.9	5.9	5.8	3.2	1.3	1.8	
	経常収支(10億ドル)	42.9	39.9	41.6	10.3	12.3	10.9	10.8	11.6			
	外貨準備高(10億ドル)	348	382	386	389	386	394	391	398	398	399	
雇用	失業率(季調値)	5.8	5.2	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	
物価	消費者物価(yoy)	0.9	1.0	1.4	1.3	1.4	1.3	1.7	2.9	3.0	2.4	1.6
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	5.8	5.4	4.8	5.7	4.8	5.1	4.2	3.7	3.7	3.2	
	株価指数(加権指数)	8,188	8,973	7,072	7,225	7,072	7,933	7,296	7,715	7,715	7,166	7,580
	短期金利(オーバーナイト)	0.12	0.18	0.34	0.39	0.40	0.40	0.50	0.41	0.39	0.39	
	為替レート(NTドル/ドル)	33.1	31.6	29.5	29.2	30.3	29.7	29.7	29.9	29.6	29.3	29.2
	為替レート(円/NTドル)	2.83	2.77	2.70	2.66	2.56	2.67	2.70	2.63	2.64	2.69	2.78

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 輸出の持ち直しを受け、景気底入れの兆しがみえる。
- ・ 輸出は10月前年比1.1%増、11月（速報ベース）同3.9%増と2ヶ月連続で前年比プラスが続いている。11月速報ベースで主要輸出品別の動向をみると、先進国景気の低迷とウォン高から船舶（前年比47.4%減）や一般機械（同1.9%減）の輸出は不振だったが、スマートフォンを含む無線通信機（同25.3%増）やコンピューター（同18.5%増）の好調が全体を押し上げた。地域別には、ASEAN（同43.1%増）、中国（同9.9%増）向けは引き続き好調だったが、米国（同24.1%減）、EU（同16.3%減）向けは不振であった。
- ・ こうした中で、生産も10月前年比ベースでは0.8%減だったが、前月比ベースでは9月0.7%増、10月0.6%増と2ヶ月連続してプラスとなり持ち直しの動きがみえる。輸出の増加基調が維持されれば、景気も緩やかに持ち直してこよう。

韓国：鉱工業生産の推移



【韓国の主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/9月	12/10月	12/11月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.8	0.3	0.9	0.3	0.2			
	(前年比)	0.3	6.3	3.6	3.6	3.3	2.8	2.3	1.6			
	うち民間消費支出	0.0	4.4	2.3	2.1	1.1	1.6	1.1	1.5			
	うち固定資本形成	1.0	5.8	1.1	1.5	1.8	4.6	2.1	2.0			
	うち設備	9.8	25.7	3.7	1.2	3.3	8.6	3.5	6.0			
生産	鉱工業生産(yoy)	0.1	16.3	6.9	5.3	5.0	3.9	1.5	0.4	0.7	0.8	
消費	小売売上高(数量,yoy)	2.7	6.7	4.4	4.6	1.9	2.0	1.0	1.6	2.3	2.0	
貿易及び対外関連	貿易収支(10億ドル)	40.4	41.2	30.8	6.3	9.2	1.3	9.6	7.6	2.9	3.7	4.5
	輸出(yoy)	13.9	28.3	19.0	21.4	9.0	3.0	1.7	5.7	2.3	1.1	3.9
	輸入(yoy)	25.8	31.6	23.3	27.7	13.4	7.8	2.8	7.0	6.1	1.7	0.7
	経常収支(10億ドル)	32.8	29.4	26.1	7.9	11.4	2.6	11.2	14.6	5.9	5.8	
	外貨準備高(10億ドル)	270	292	306	303	306	316	312	322	322	323	326
雇用	失業率(季調値)	3.6	3.7	3.4	3.2	3.1	3.4	3.3	3.1	3.1	3.0	
物価	消費者物価(yoy)	2.8	2.9	4.0	4.3	4.0	3.0	2.4	1.6	2.0	2.1	1.6
金融	マネーサプライ(New M2,yoy)	9.9	6.0	5.5	4.5	5.5	6.4	6.5	5.6	5.6	4.7	
	株価指数(総合)	1,683	2,051	1,826	1,770	1,826	2,014	1,854	1,996	1,996	1,912	1,933
	C/Dレート(3ヵ月物)	2.63	2.67	3.44	3.59	3.56	3.54	3.54	3.22	3.14	2.93	2.85
	為替レート(ウォン/ドル)	1,277	1,156	1,108	1,084	1,145	1,132	1,152	1,133	1,125	1,107	1,088
	為替レート(円/100ウォン)	7.3	7.5	7.2	7.0	6.8	7.1	6.9	6.9	6.9	7.3	7.6

(出所)CEIC

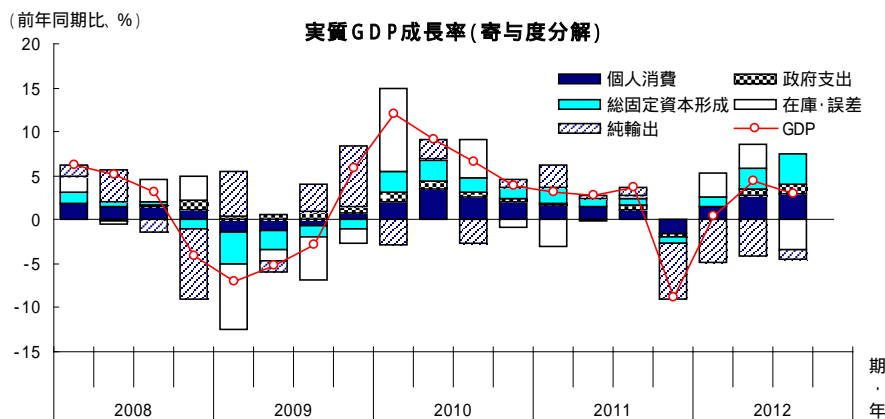
(注) yoy = 前年比 (%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・ タイの2012年7-9月期の実質GDPは前年比3.0%増と、4-6月期(同4.4%増)から伸びが鈍化した。需要項目別には、世界経済の成長テンポの減速に伴い失速した輸出が、景気全体を下押しした。反面で、新車購入支援策を受けて堅調を維持した個人消費などの内需が、タイ景気を下支えした。
- ・ 足元の月次指標を見ると、まず企業部門では、10月の製造業生産指数が前年比36.1%増と前月(同15.9%減)から伸びが大きく加速した。また家計部門でも、10月の総合消費指数が前年比9.2%増と勢いを強めるなど、個人消費の増勢は好調を維持している。ただ一連の動きは前年の洪水を受けた落ち込みの反動を受けたものであり、景気全体の基調は緩やかな拡大に留まっていると判断される。
- ・ こうした中でタイ中央銀行は、本年最後となる11月28日の会合で、政策金利(1日物レポレート)を現行の年2.75%に据え置いた。タイ中銀は当面の間、低金利政策を維持し、景気回復を下支えする意向を表明した。

タイ:7-9月期のGDPは前年比3.0%増に伸びが鈍化



(出所)タイ国家経済社会開発庁(NESDB)資料より作成。

【タイの主要経済指標】

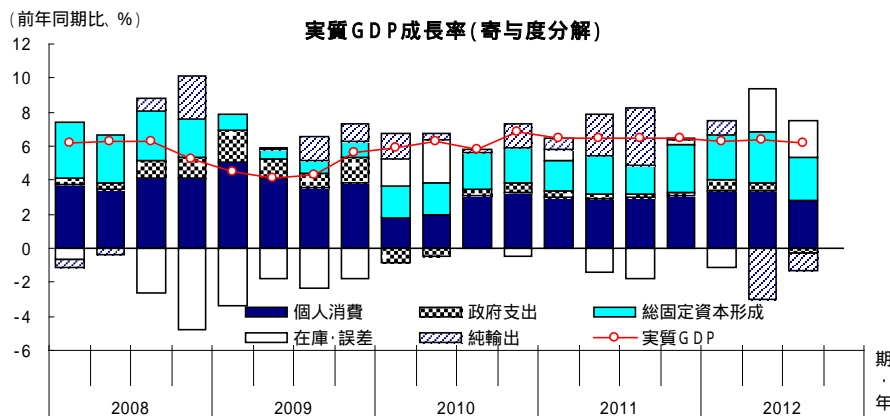
		2009年	2010年	2011年	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/8月	12/9月	12/10月	12/11月
GDP (yoy)	実質GDP	2.3	7.8	0.1	8.9	0.4	4.4	3.0				
	民間消費	0.1	5.1	1.3	3.0	2.4	5.6	6.5				
	総固定資本形成	9.2	9.4	3.3	3.6	5.2	10.2	15.5				
生産	製造業生産指数(yoy)	7.2	14.3	9.3	34.5	6.8	1.6	11.0	11.2	15.9	36.1	
消費	総合消費指数(yoy)	2.6	5.5	3.6	1.2	4.1	4.9	5.3	4.0	4.7	9.2	
投資	民間企業投資指数(yoy)	12.0	19.0	8.3	0.3	5.9	15.8	15.0	13.5	11.7	16.4	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	18.7	12.4	6.2	6.2	5.2	5.0	1.6	1.0	1.2	2.5	
	輸出(yoy)	14.3	28.1	14.0	6.1	1.4	2.0	3.8	6.9	0.2	15.6	
	輸入(yoy)	25.4	36.8	25.1	12.8	10.4	9.2	1.7	8.8	7.7	21.6	
国際収支	経常収支(10億ドル)	21.9	10.0	5.9	0.4	1.4	2.4	2.7	0.9	1.8	0.2	
	外貨準備高(10億ドル)	133.6	165.7	165.2	165.2	168.8	164.6	172.7	168.7	172.7	170.7	
雇用	失業率(季調前)	1.5	1.1	0.7	0.6	0.7	0.9	0.6	0.6	0.6	0.6	
物価	消費者物価(総合,yoy)	0.8	3.3	3.8	4.0	3.4	2.5	2.9	2.7	3.4	3.3	
	消費者物価(コア,yoy)	0.3	0.9	2.4	2.8	2.7	2.0	1.8	1.8	1.9	1.8	
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	6.8	10.9	15.2	15.1	13.1	11.2	12.6	10.8	12.7	11.8	
	株価指数(SET)	735	1,033	1,025	1,025	1,197	1,172	1,299	1,227	1,299	1,299	1,324
	インターバンク金利(3M)	1.58	1.61	3.12	3.45	3.12	3.14	3.13	3.13	3.13	3.03	0.00
	為替レート(円/タイ\$)	34.3	31.7	30.5	31.0	31.0	31.3	31.4	31.4	31.4	31.0	30.7
	為替レート(円/バツ)	2.72	2.77	2.61	2.49	2.55	2.56	2.51	2.50	2.52	2.57	2.63

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)

2. インドネシア経済の概況

- ・ インドネシアの2012年7-9月期の実質GDP成長率は前年比6.2%増と、4-6月期(同6.4%増)からわずかながら鈍化した。需要項目別には、個人消費など旺盛な内需が全体の成長率を下支えした。他方で、世界景気のスローダウンを受けた輸出の減少により、純輸出(輸出-輸入)の寄与度は引き続きマイナスとなった。ただ輸入の増勢も失速したために、純輸出のマイナス幅は縮小した。
- ・ 直近の月次指標も内需の堅調さを示している。10月の小売売上高は前年比19.0%増と前月(同19.2%増)に続き高い伸びとなった。また外需による景気下押し圧力は徐々に緩和しているとみられる。10月の名目輸出は前年比7.6%減と、2ヶ月連続でマイナス幅が縮小した。
- ・ こうした中で物価を見ると、11月の消費者物価は前年比4.3%と前月(同4.6%)よりも低い伸びに留まったが、インフレ圧力は引き続き根強い。インドネシア中央銀行は、物価動向を見極めつつ、当面は金融緩和スタンスを維持しよう。

インドネシア:旺盛な内需が成長を下支え



(出所) インドネシア中央統計局資料より作成。

【インドネシアの主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/8月	12/9月	12/10月	12/11月
GDP (yoy)	実質GDP	4.6	6.2	6.5	6.5	6.3	6.4	6.2				
	民間消費支出	4.9	4.7	4.7	4.9	4.9	5.2	5.7				
	総固定資本形成	3.3	8.5	8.8	11.5	10.0	12.3	10.0				
生産	製造業生産(yoy)	1.3	4.4	4.0	2.8	1.7	2.0	3.6	1.6	9.0		
消費	小売売上(yoy)	n.a.	n.a.	9.0	9.1	13.1	11.3	17.0	10.6	19.2	19.0	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	19.7	22.2	26.1	3.9	2.8	2.3	0.5	0.2	0.5	1.5	
	輸出(yoy)	15.0	35.5	28.9	9.4	6.9	9.0	14.1	24.7	9.4	7.6	
	(除く石油ガス,yoy)	9.7	33.1	24.8	8.6	3.9	8.8	10.1	22.6	3.6	8.8	
	輸入(yoy)	24.9	40.1	30.8	23.9	17.9	13.2	2.0	8.4	1.2	10.8	
国際収支	経常収支(10億ドル)	10.6	5.1	1.7	2.3	3.1	7.7	5.3				
	外貨準備高(10億ドル)	60.4	89.8	103.4	103.4	103.1	99.4	102.6	101.7	102.6	102.8	
物価	消費者物価(yoy)	4.8	5.1	5.4	4.1	3.7	4.5	4.5	4.6	4.3	4.6	4.3
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	13.0	15.4	16.4	16.4	18.8	20.9	18.2	17.8	18.2	18.3	
	株価指数(総合)	2,534	3,704	3,822	3,822	4,122	3,956	4,263	4,060	4,263	4,350	4,276
	中銀債金利(3ヵ月)	6.50	6.50	6.00	6.00	5.75	5.75	5.75	5.75	5.75	5.75	5.75
	為替レート(比ア/ドル)	10,354	9,078	8,773	9,024	9,088	9,412	9,544	9,560	9,588	9,615	9,605
	為替レート(円/100比ア)	0.91	0.96	0.91	0.87	0.88	0.84	0.82	0.82	0.81	0.83	0.86

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、製造業生産は2011年より新基準。



### 3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

**【マレーシアの主要経済指標】**

		2009年	2010年	2011年	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/8月	12/9月	12/10月	12/11月
GDP (yoy)	実質 GDP	1.5	7.2	5.1	5.2	5.1	5.6	5.2				
	民間消費	0.6	6.6	7.1	7.3	7.4	8.8	8.5				
	総固定資本形成	2.7	10.4	6.5	8.4	16.2	26.1	22.7				
生産	鉱工業生産(yoy)	7.6	7.2	1.2	2.3	3.5	4.9	2.4	0.2	4.8		
消費	自動車販売台数(yoy)	2.0	12.7	0.8	1.3	12.6	17.3	2.7	11.2	3.3	3.3	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	33.4	34.1	39.3	10.2	9.7	6.8	5.5	2.3	2.1		
	輸出(yoy)	21.2	26.5	14.4	8.5	3.4	0.4	4.7	8.6	2.7		
	輸入(yoy)	20.9	33.1	14.3	5.5	6.3	5.3	3.9	1.6	9.7		
国際収支	経常収支(10億ドル)	31.4	27.3	31.7	7.1	5.9	3.1	3.0				
	外貨準備高(10億ドル)	86.5	95.9	120.2	120.2	122.0	121.6	124.3	122.1	124.3	125.1	
雇用	失業率(%)	3.7	3.3	3.1	3.0							
物価	消費者物価(yoy)	0.6	1.7	3.2	3.2	2.3	1.7	1.4	1.4	1.3	1.3	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	9.5	7.2	14.6	14.6	15.2	13.6	13.0	14.8	13.0	13.7	
	株価指数(総合)	1,273	1,519	1,531	1,531	1,596	1,599	1,637	1,646	1,637	1,673	1,611
	インターバンク金利(1M,%)	2.18	2.56	2.97	3.05	3.05	3.06	3.06	3.06	3.07	3.06	
	為替レート(リキ/ドル)	3.52	3.22	3.06	3.15	3.06	3.11	3.12	3.12	3.08	3.06	3.06
	為替レート(円/リキ)	26.5	27.2	26.0	24.5	25.9	25.7	25.2	25.2	25.4	25.8	26.5

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、消費者物価は2006年より新基準。

**【フィリピンの主要経済指標】**

		2009年	2010年	2011年	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/8月	12/9月	12/10月	12/11月
GDP (yoy)	実質 GDP	1.1	7.6	3.9	4.0	6.3	6.0	7.1				
	民間消費支出	2.3	3.4	6.3	6.4	5.1	5.9	6.2				
	固定資本形成	1.7	19.1	0.2	2.4	3.9	11.8	8.7				
生産	鉱工業生産(yoy)	13.2	16.9	2.1	6.8	9.4	4.2	4.5	4.2	6.7		
消費	自動車販売台数(yoy)	6.4	25.6	14.9	13.6	10.2	19.4	8.5	1.8	2.4	11.8	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	4.7	3.4	12.2	3.8	2.6	1.4	2.0	1.3	0.5		
	輸出(yoy)	21.7	34.0	6.2	16.8	4.8	10.5	6.2	9.0	22.8		
	輸入(yoy)	24.1	27.5	10.1	0.9	1.5	2.2	0.8	0.4	3.6		
国際収支	経常収支(10億ドル)	9.4	8.9	7.0	1.9	0.8	2.8					
	外貨準備高(10億ドル)	44.2	62.4	75.3	75.3	76.1	76.1	82.0	80.7	82.0	81.7	
雇用	失業率(%)	7.5	7.4	7.4	6.4	7.2	6.9	7.0				
物価	消費者物価(yoy)	4.2	3.8	4.7	4.7	3.1	2.9	3.5	3.8	3.6	3.1	
金融	マネーサプライ(M3,yoy)	8.3	10.6	6.3	6.3	5.6	7.1	7.5	6.2	7.5		
	株価指数(総合)	3,053	4,201	4,372	4,372	5,108	5,246	5,346	5,196	5,346	5,425	5,640
	インターバンク(3ヵ月,%)	4.50	3.77	2.52	2.79	3.36	3.38	1.77	1.59	1.26	1.10	0.82
	為替レート(ペソ/ドル)	47.6	45.1	43.3	43.5	43.0	42.8	41.9	42.0	41.7	41.5	41.1
	為替レート(円/ペソ)	1.96	1.94	1.84	1.78	1.84	1.87	1.88	1.87	1.87	1.90	1.97

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

**【シンガポールの主要経済指標】**

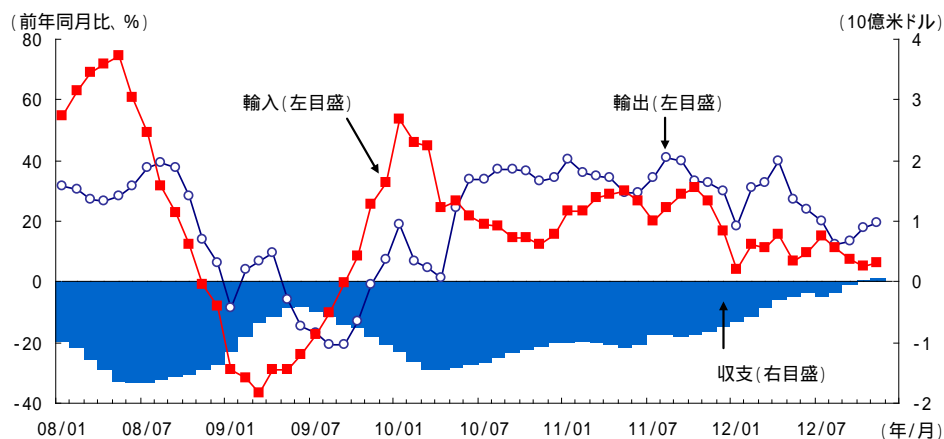
		2009年	2010年	2011年	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/8月	12/9月	12/10月	12/11月
GDP (yoy)	実質 GDP	1.0	14.8	4.9	3.6	1.6	2.5	0.3				
	民間消費	0.1	6.5	4.1	1.9	4.4	1.7	1.1				
	総固定資本形成	2.9	7.0	3.3	0.2	18.5	4.9	0.9				
生産	鉱工業生産(yoy)	4.2	29.7	7.8	9.3	0.8	4.6	0.9	2.3	2.8	2.2	
消費	小売売上金額(yoy)	2.5	0.3	4.2	5.8	9.5	0.7	0.8	3.4	2.4		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	23.9	40.8	43.8	10.6	7.1	6.7	8.7	2.8	3.2	2.9	
	輸出(yoy)	20.2	30.6	16.5	7.1	5.9	0.5	5.8	8.9	5.1	6.1	
	輸入(yoy)	23.1	26.7	17.7	11.2	11.7	2.6	3.0	11.3	1.0	9.8	
国際収支	経常収支(10億ドル)	30.1	55.5	57.0	13.2	10.6	10.5	11.7				
	外貨準備高(10億ドル)	187.8	225.8	237.7	237.7	243.6	243.4	252.1	246.2	252.1	254.2	
雇用	失業率(季調値,%)	3.0	2.2	2.0	2.0	2.1	2.0	1.9				
物価	消費者物価(yoy)	0.6	2.8	5.2	5.5	4.9	5.3	4.2	3.9	4.7	4.0	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	11.3	8.6	10.0	10.0	9.7	6.5	6.1	7.2	6.1	5.4	
	株価指数(Straits)	2,898	3,190	2,646	2,646	3,010	2,878	3,060	3,025	3,060	3,038	3,070
	インターバンク金利(3M,%)	0.69	0.56	0.41	0.44	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.4
	為替レート(Sドル/ドル)	1.45	1.36	1.26	1.29	1.26	1.26	1.25	1.25	1.25	1.22	1.2
	為替レート(円/Sドル)	64.3	64.3	63.4	60.1	62.6	63.4	63.0	63.0	63.5	64.4	66.2

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

4. ベトナム経済の概況

- ベトナム経済は緩やかに成長している。企業部門を見ると、11月の鉱工業生産が前年比6.7%増と前月(同4.8%増)から勢いを強めた。産業別には、電気・ガス(同10.5%増)や水道(同9.2%増)、製造業(同8.1%増)の伸びが加速した。同月の名目輸出は前年比15.2%増と前月(同23.0%増)から勢いが鈍化した。もっとも、均してみると、輸出は年央以降持ち直しの動きが続いている。
- 他方で家計部門では、1-11月期の小売売上高(名目ベース)が前年比16.4%増と1-10月期(同19.9%増)よりも伸びが鈍化した。業種別には、小売業や宿泊・飲食業での売り上げ低迷が目立った。加えて10月の新車販売台数も前年比19.7%減と13ヶ月連続で前年割れと低迷しており、個人消費は冴えない状況となっている。
- 最後に物価を見ると、11月の消費者物価上昇率は前年比7.1%と2ヶ月連続で伸びが加速した。医療費の値上げによる押し上げ圧力に加えて、教育関連費の値上がりも物価の騰勢を促しているかたちだ。

ベトナム:輸出は持ち直しの動きが続く



(注)輸出入には3ヶ月の、収支には12ヶ月の後方移動平均を施した。  
(出所)ベトナム国家統計局(GSO)資料より作成。

【ベトナムの主要経済指標】

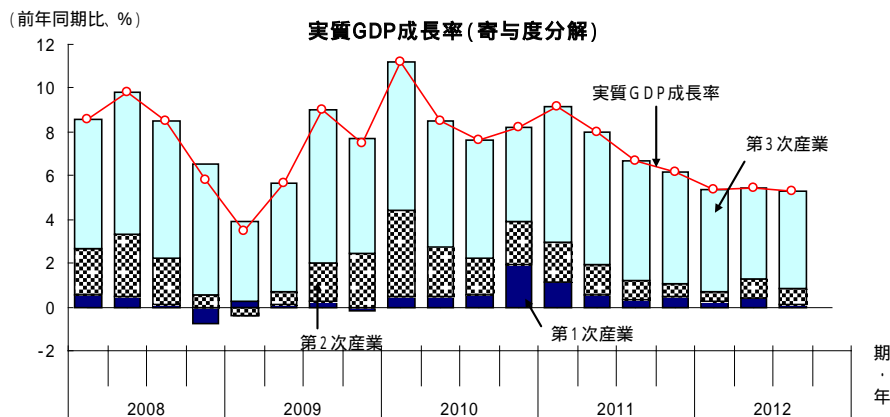
		2009年	2010年	2011年	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/8月	12/9月	12/10月	12/11月
GDP	実質GDP	5.3	6.8	5.9	5.9	4.0	4.4	4.7				
	(yoy)											
	ytd											
生産	農業生産	1.8	2.8	4.0	4.0	2.8	2.8	2.5				
	鉱工業・建設生産	5.5	8.9	5.5	5.5	2.9	3.8	4.4				
生産	鉱工業生産(yoy)	7.1	10.7	6.7	7.0	8.7	7.4	6.7	4.4	9.7	4.8	6.7
消費ytd	小売売上(名目、yoy)	18.6	24.5	24.2	24.2	21.8	19.5	17.3	17.9	17.3	17.1	16.4
輸出入	貿易収支(10億ドル)	12.4	12.1	8.9	1.6	0.3	0.2	0.8	0.1	0.2	0.2	0.1
	輸出(yoy)	7.1	26.7	33.1	29.3	28.3	23.4	13.1	11.5	19.4	23.0	15.2
	輸入(yoy)	10.8	21.6	24.4	16.2	7.8	9.6	6.8	6.4	1.4	11.2	8.8
国際収支	経常収支(10億ドル)	6.6	4.3	0.2	0.1							
	外貨準備高(10億ドル)	16.0	12.1									
物価	消費者物価(yoy)	6.7	9.2	18.6	19.9	16.0	8.6	5.6	5.0	6.5	7.0	7.1
金融	株価指数(VN index)	494.8	484.7	351.6	351.6	441.0	422.4	392.6	396.0	392.6	388.4	377.8
	ダウレート(翌日物:期末)	7.21	8.17	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	為替レート(ドン/ドル)	17,131	18,655	20,547	20,811	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828
	為替レート(円/100ドン)	0.55	0.47	0.39	0.37	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、ytd=年初累計ベース、鉱工業生産は2011年6月以降、2012年1月以降新基準。

5. インド経済の概況

- ・ インドの2012年7-9月期の実質GDPは前年比5.3%増と4-6月期(同5.5%増)から伸びがやや鈍化し、3-4半期連続で5%台の低い成長率となった。産業別に寄与度を見ると、第1次産業(農林水産業)に加えて、建設業の増勢鈍化などから第2次産業の押し上げ幅が縮小し、GDPの成長を抑えた。
- ・ 足元の指標には明るさが見られる。企業部門では、生産財の動きを示すコア生産指数が10月は前年比6.5%増と3ヶ月連続で伸びを高めた。預金準備率引き下げの効果などを映じた動きとみられる。家計部門でも、10月の新車販売台数が前年比27.0%増と3ヶ月ぶりとなる前年比プラスに転じるなど、勢いに弾みが出てきた。
- ・ 反面で物価を見ると、10月の卸売物価の対前年比上昇率は7.5%と前月(7.8%)から伸びが若干鈍化するに留まるなど、インフレ圧力は依然根強い。こうした中でインド準備銀行(中央銀行)は、11月の理事会でも政策金利(レポ金利)を現行の年8.00%に据え置くなど、追加金融緩和に踏み切れない状況が続いている。

インド:3期連続で5%台の低い成長率に



(注)第1次産業は農林水産業、第2次産業は鉱業・製造業・建設業、第3次産業はそれ以外の産業で構成される。  
(出所)インド中央統計局資料より作成。

【インドの主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/8月	12/9月	12/10月	12/11月
GDP (yoy)	実質GDP	6.4	8.9	7.5	6.1	5.3	5.5	5.3				
	農業生産	0.7	5.8	4.3	2.8	1.7	2.9	1.2				
	実質GDP(年度)	8.4	8.4	6.5	6.1	5.3	5.5	5.3				
	農業生産(年度)	1.0	7.0	2.8	2.8	1.7	2.9	1.2				
生産	鉱工業生産(yoy)	0.2	9.7	4.8	1.2	0.6	0.3	0.5	2.3	0.4		
消費	自動車販売台数(yoy)	15.7	30.8	16.2	10.9	11.9	8.1	3.6	5.1	9.2	13.0	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	92.3	123.9	161.5	47.8	47.1	42.2	51.4	15.5	18.1	21.0	
	輸出(yoy)	15.4	37.3	33.7	11.0	2.7	4.7	12.1	11.7	10.8	1.6	
	輸入(yoy)	19.9	36.2	32.5	29.2	24.7	6.2	0.9	6.4	5.1	7.4	
国際収支	経常収支(10億ドル)	25.9	52.2	62.8	20.0	21.8	16.6					
	外貨準備高(10億ドル)	258.6	267.8	262.9	262.9	260.1	256.7	260.0	257.6	260.0	260.4	
物価	卸売物価(yoy)	2.4	9.6	9.5	9.0	7.5	7.5	7.8	8.0	7.8	7.5	
	消費者物価(yoy)	10.9	12.0	8.9	8.4	7.2	10.1	9.8	10.3	9.1	9.6	
金融	マネーサプライ(M3,yoy)	18.0	18.7	15.9	15.9	13.1	15.6	13.4	13.9	13.4	13.1	
	株価指数(BSE Sensitive)	17,465	20,509	15,455	15,455	17,404	17,430	18,763	17,430	18,763	18,505	19,340
	TB3ヶ月	3.70	5.51	8.06	8.65	8.94	8.37	8.17	8.23	8.14	8.14	8.19
	為替レート(ルピー/ドル)	48.4	45.8	46.9	51.4	49.9	55.1	54.7	55.7	52.7	54.1	54.5
	為替レート(円/ルピー)	1.93	1.90	1.69	1.52	1.59	1.44	1.43	1.41	1.47	1.47	1.51

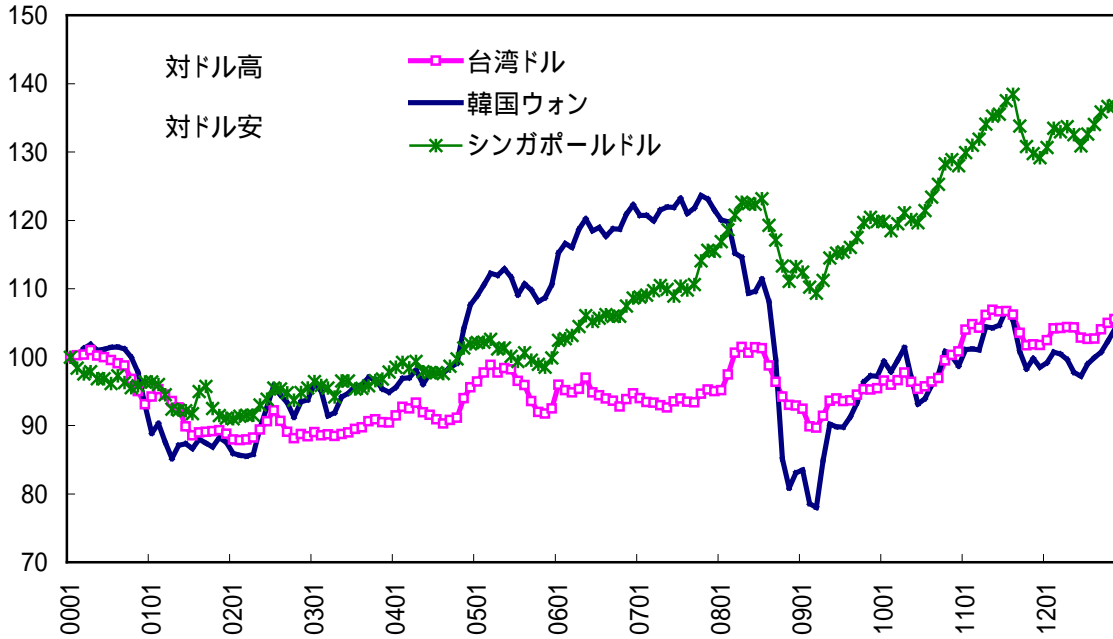
(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%),年度は4月から翌年3月。消費者物価は2012年より新基準。

．アジア通貨・株価動向

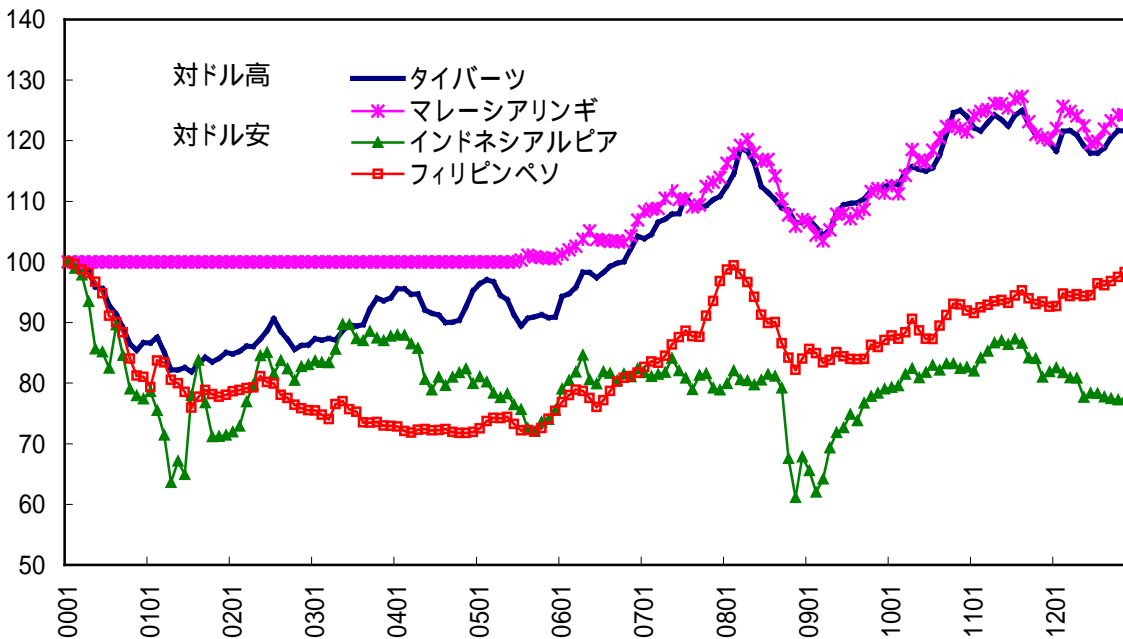
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

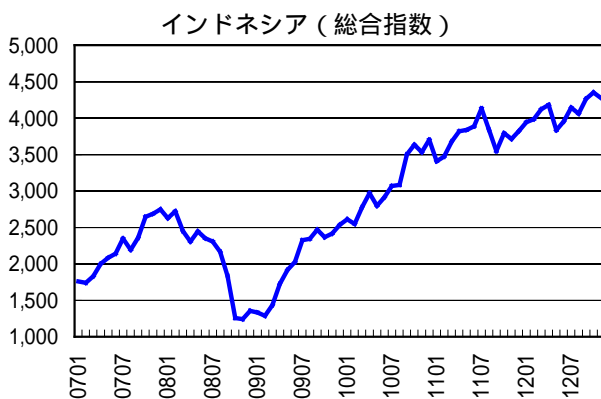
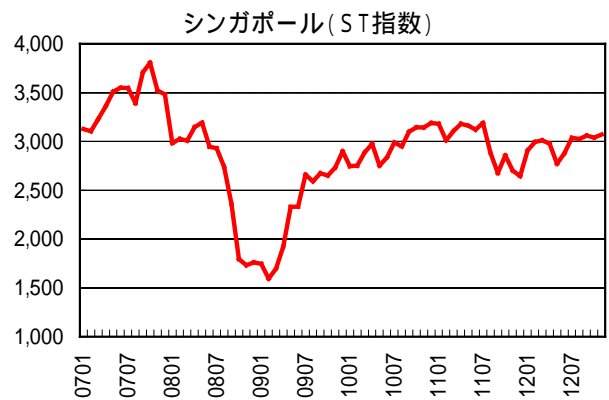
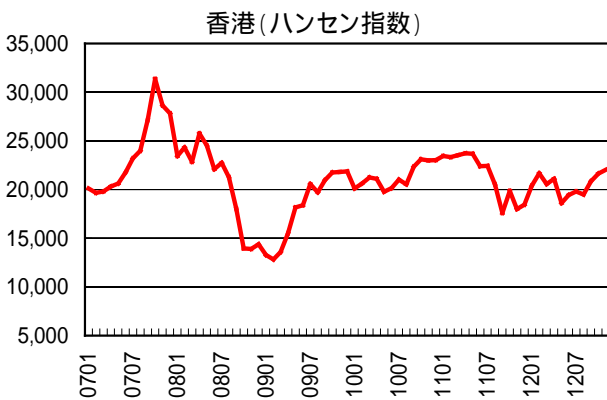


(2000年1月 = 100)



(出所)CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

- ご利用に際して -

- l 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- l また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- l 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- l 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- l 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。